<table>
<tr><td colspan="4">基本財産担保提供承認申請書</td></tr>
<tr><td rowspan="3">申請者</td><td>主たる事務所の所在地</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>ふりがな
名称</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>理事長の氏名</td><td colspan="2">㊞</td></tr>
<tr><td colspan="2">申請年月日</td><td colspan="2">平成　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td colspan="2">資金借入れの理由</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">借入金で行う事業の概要</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">資金計画</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="7">担保提供に係る借入金</td><td>借入先</td><td></td></tr>
<tr><td>借入金額</td><td>円</td></tr>
<tr><td>借入期間</td><td>年</td></tr>
<tr><td>借入利息</td><td>年利　　％</td></tr>
<tr><td>償還方法</td><td></td></tr>
<tr><td>償還計画</td><td>平成　年　円　平成　年　円
平成　年　円　平成　年　円
平成　年　円　平成　年　円
平成　年　円　平成　年　円
平成　年　円　平成　年　円</td></tr>
<tr><td>償還財源</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">担保物件</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

（注）１　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４番とします。

２　記載事項が多いため、この様式によることができないときは、適宜用紙（大きさは、日本工業規格Ａ列４番）の枚数を増加し、この様式に準じた申請書を作成してください。

３　担保物件の欄には、担保に供する基本財産を具体的に記載してください。例えば、土地については、１筆ごとに所在地、地目及び地積並びに申請時における具体的な用途を記載し、建物については、１棟ごとに所在地、種類、構造及び床面積並びに申請時における具体的な用途を記載してください。

なお、既に担保に供している物件を更に担保に供するときは、その旨を付記してください。